

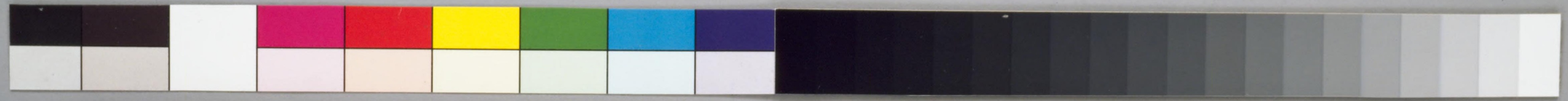
狂月坊

WA 32
17

狂月坊 1帖 WA32-17 00-001

国立国会図書館

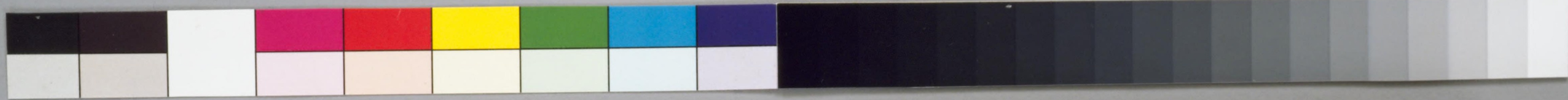




狂月坊 1帖 WA32-17 00-003

国立国会図書館

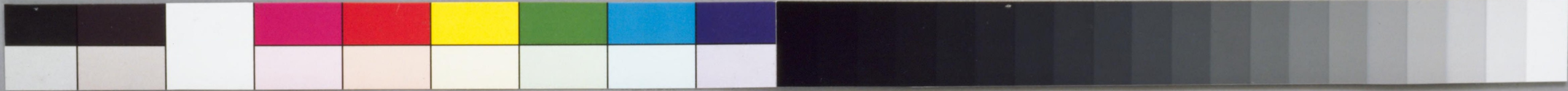




狂月坊 1帖 WA32-17 00-004

国立国会図書館





照月のかつり男り足と結ていままをわけこむ女あ

藤津部吉親

たちほく家くこの月足れハ信儀の田毎その教え

盃 采人

おしんとあともあつのおしあや桂の木性

田原船積

照しふむゝ疾ちまひふれ月中よりの事のみとづも

高利菊主

今宵まゝ那波のつらふん申ふあつた所隔地比の名月

此花咲吉

しら沙の雪のそとちやあつたよも月もさんこのあつ

呉井と存け

やまくの深きこ地とやさしあの月もまらふとけり

吟海音人

あもしちつむ。秋の月のまへに心よ見ゆ。やい

貸本吉良

潔白な月の眼まにけりま結て世界よ言のわつれあはし

芦巻田原在

うねうねとほろほろとちつとら月れかけもさふはしたる山

浅草市人

雨井よりこりて水よすきた川白きハ月れ

鬼面成

こよひとや福しひよせもあさし輝こして輝さるの月影

篠野玉浦

名月ハけつた一つのあつたふと夜もと夜もあつ

子あつあ末

四五沙の浪ちとや。月影ハ波の底まらさし

三根吾風

すみのちとち月の月れ鏡とちりもり

藤悟新良情

是月しつちあきとちとあや色とあひ上るこくらの月

め天下一打鏡

子金の光と山乃婦とちりもり

言村あ世

唐土れかこく申すし我國よとち此秋の仲麻呂の月

国胡蝶

世の人の眼ハ星よとちあつた一つの月とち

試美妻生

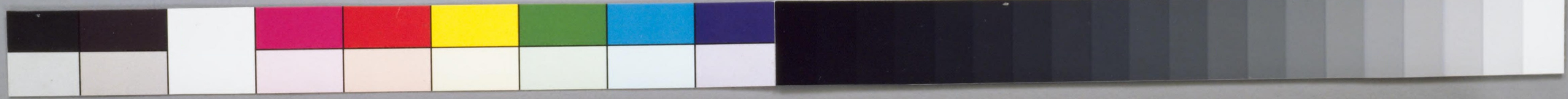
ひつらつ田毎の影とちつた此ハ十人あつた

定故橋也

月

銭屋金塔





狂月坊 1帖 WA32-17 00-006

国立国会図書館





まんまのやうな桂男とていふは
大屋裏住

一富士二鷹

千金の寿の夕アと十とせく秋の夕のいま
人三似こまぬ

大京さくらぬ

楓師すく今春は月とて月れを
さほ月れ辺に表に見せし
百華高

今田部を位

川上乃系船とてある今月れ
櫓香茂吉

櫓香茂吉

まりりる之筆乃山を照月り
櫓香茂吉

櫓香茂吉

さくらいへとて十日の雨の
櫓香茂吉

櫓香茂吉

月くれとて木よとして照月の
櫓香茂吉

櫓香茂吉

むさしゆけしきとて我の
櫓香茂吉

櫓香茂吉

まよとて月をほめてけり
櫓香茂吉

櫓香茂吉

金をちやうとて月を
櫓香茂吉

櫓香茂吉

今を月とて雲の帯とて
櫓香茂吉

櫓香茂吉

まんちやうとて月を
櫓香茂吉

櫓香茂吉

曇りて照れ後、地の月話の
櫓香茂吉

櫓香茂吉

浮きとて月を
櫓香茂吉

櫓香茂吉

まんちやうとて月を
櫓香茂吉

櫓香茂吉

うねりて月を
櫓香茂吉

櫓香茂吉

あつとて月を
櫓香茂吉

櫓香茂吉

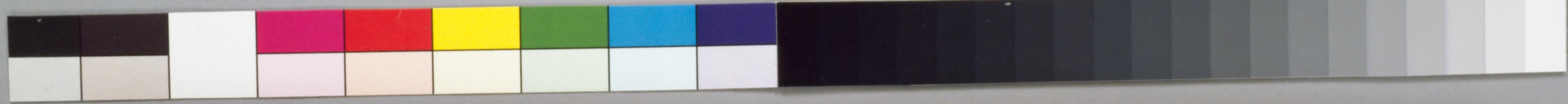
晴りて月を
櫓香茂吉

櫓香茂吉

天もまといつとて月を
櫓香茂吉

櫓香茂吉





狂月坊 1帖 WA32-17 00-008

国立国会図書館



唐東之知

紀輕人

荷造早文

屋檝堅丸

寶藏光

柳之能取

密柑皮種

加倍耳有

延壽と成

五月雨兼古

おろし長ね

絲瓜丈長

あぶら麻守

ふぶらと

行京随女

海京凡吉

伊勢阿波ゆ

菊酒壺

根寄一酒

紀之能

便

曳釣ハ橋よりひける月のさんこの鞍ハきよあ終り

晴天のきぬれきりいよんるをよ入る千金は月

人毎よりいよんるよハ三井さのあまねねともの各月

月とまよおとも終りものなけいよとさしかりていよまきり

芋をよむ桶の中まで照す月と歌よとよをよとたのしま

もら月とよと終り下戸の名に似すつぐと歌よとよのさ

海をよむはまののさよとよとよとよとよとよとよとよと

よはしてよとよとよとよとよとよとよとよとよとよとよと

歌よとよのいつとよとよとよとよとよとよとよとよとよと

詠よとよのよもよとよとよとよとよとよとよとよとよと

勝角かあよとよとよとよとよとよとよとよとよとよとよと

名によとよとよとよとよとよとよとよとよとよとよとよと

よとよとよとよとよとよとよとよとよとよとよとよとよと

花よとよとよとよとよとよとよとよとよとよとよとよとよと

よとよとよとよとよとよとよとよとよとよとよとよとよと

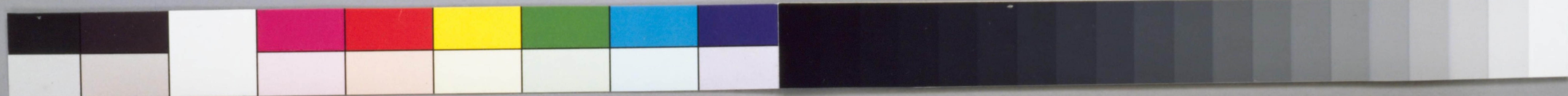
よとよとよとよとよとよとよとよとよとよとよとよとよと

よとよとよとよとよとよとよとよとよとよとよとよとよと

よとよとよとよとよとよとよとよとよとよとよとよとよと

よとよとよとよとよとよとよとよとよとよとよとよとよと

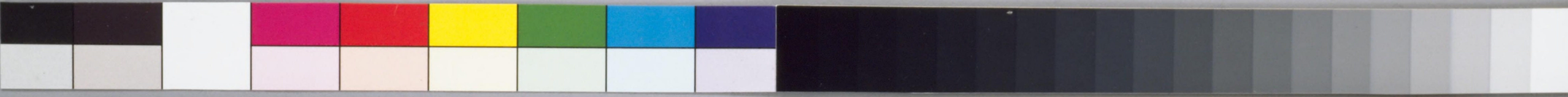
よとよとよとよとよとよとよとよとよとよとよとよとよと



狂月坊 1帖 WA32-17 00-010

国立国会図書館

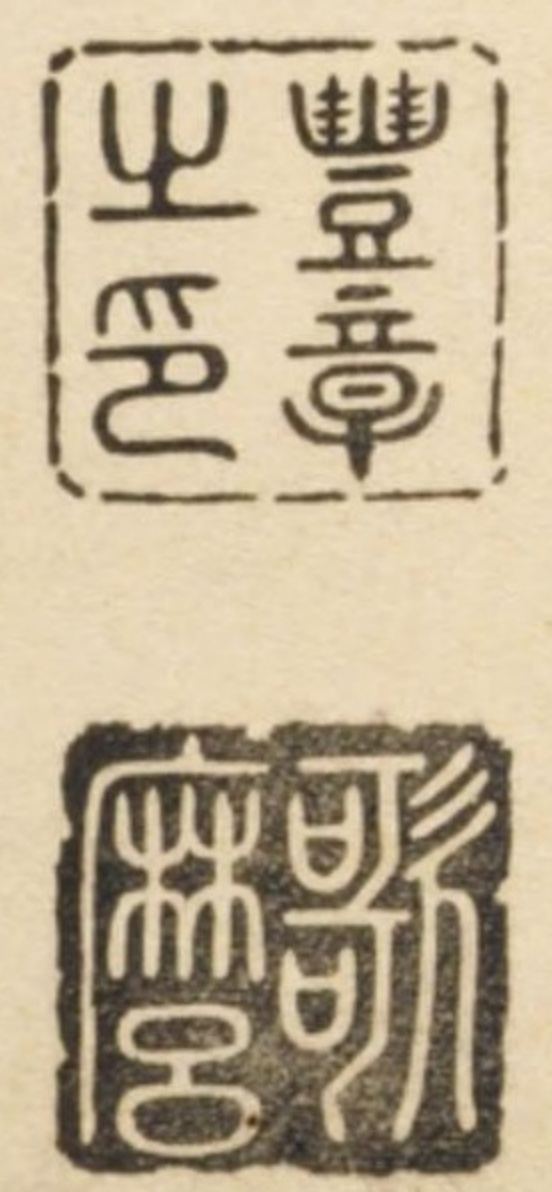




つり光
 海の目くげと誰もみりま
 辰唐秋人
 老い年寄
 十冬籠のかけめらもあつたの月うらハニミ十五とりわもり
 窪 俊通
 須戸の浦松よりもほし細のひかしてよりのつりわけ
 俗音丸
 田子の浦よ折老をけり雪うらも松と白りり月の赤人
 時出多加久
 今夏しとつりまの月の雪まらぬ面白妙よきえまらぬ
 寺、辰重翁
 のみつゝあつた是かへ四半松のかけめらまの月とくそあ
 舊唐丸
 月一つはしそりた海川のかけはなんまんぞん部列
 三院居士師
 そのもやまの地中、新く地と月のあつとくそまら
 市仲 住
 い、ほよの果報ありとも今夏半藤をんまらた州の千金の月
 宿屋飯盛
 月の中に霞裳の衣やまらんらむ心室も新のこさし
 序石瑞例
 りよとつり娘もとつりまの月の色よ千里の外より有

右五葉

喜多川歌麿製表



寛政巳酉秋八月

東都書肆 耕書堂發行

国立国会図書館

狂月坊 1帖 WA32-17 00-011

国立国会図書館





狂月坊 1帖 WA32-17 00-012

国立国会図書館

